

# ふるさと奥尻通信

平成29年9月30日  
奥尻町教育委員会発行  
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

## 巻頭言

毎年1月1日時点での「いか釣り漁許可船名簿」が水産庁のHPで公開されています。各漁船の名前とトン数を知ることができます。

## 特集 最新イカ釣り事情

6月解禁となった今年のイカ漁は、7月のうちに稚内沖にイカの漁場が形成され、一方で、本来この時期に主戦場となる檜山沖にはスルメイカの姿が見えませんでした。また、8月下旬からは函館沖にも漁場が出来、ちょっとした異変が起きています。水温や海流の変化に起因するのではないかとされますが、真相は判りません。

さて、9月下旬、奥尻島付近で操業していた第二十一宝生丸(福岡市、138トン)が再び奥尻港に寄港しました。ちょうど時化模様であったので避難してきたものです。九州の船が入ることは極めて稀なので、船長に色々とお話を聞きました。

船長によると、「6月初旬に福岡市の博多港を出港し、東シナ海まで南下し、台湾の北東付近でヤリイカをねらって操業。一度沖縄に寄港した他は、全て博多港に水揚げ。9月頭頃まで続けた。だいたい25日間操業し、1ヶ月に1度は水揚げで陸に上がる。満月の日は漁をしない。9月中旬以降は日本海を北上しながら、大和堆、武蔵堆など各地点を試して稚内沖まで北上した。9月13日に寄港した時に初めて奥尻に来た」とのこと。



第二十一宝生丸 138トン 福岡市 昭和54年建造

さらに業界のことを伺うと、「この手の中型船は全国に66隻しかない。九州ではこの船が唯一だ。昔は僚船と船団を組んでいたが、今では独行船だ。船齢が古くなり、機関を扱える人間もないから減っている」とのこと。それでも、「イカが取れない分、単価は上がっているから、稼ぎはいい。ただ、濃密に群れている箇所分布が少なく、好漁と不漁の差が激しい」そうです。

この船は船長以下、機関長、コック長、日本人乗組員2名、インドネシア人乗組員3名の8名で操業しています。乗子1年目のNさんに船内を案内してもらいましたが、「仕事は想像していたよりもキツイ。石川県の船はまだまだ過酷だと聞いている。インドネシア人は繊細さがあまりないが素直でよく働く。獲ったイカは船内で1尾ずつ急速冷凍し、箱に詰めて船倉に積んでいく。最大で8,000箱入る。冷凍庫は-45℃~-60℃まで冷やせる。スルメイカは石川県能登町の小木漁港に水揚げする」そうです。

船内には主機関のほかサブが2基、居住区には、厨房と食卓があり、浴室と寝室も備わっていました。ここでコック長特製のイカの塩辛を食べさせてもらったところ、とても塩辛いながらも新鮮なゴロの風味が生きており、どんぶり飯何杯でも入る味でした。

20歳~25歳のインドネシア漁業実習生の若者が3人乗っていましたが、石川県内に寮があって、漁期になるとそれぞれの船が迎えに来て3人ほどずつ乗り込んでいくそうです。3年で入れ替わって帰国するのですが、帰国後は漁業関係の職につくとは限らないようです。3年目のパンジ(ジャワ島出身)は帰国したら大学へ通うかもしれないと話していました。とにもかくにも安全第一。大漁を祈願しております。



情報収集に余念がない船長 衛星回線を使用



主機関 ディーゼル537Kw



特製の塩辛

1尾ずつ収めるトレー



新鮮なイカをどうもありがとうございました



インドネシアの若者たち



昭和30年に札幌へ修学旅行に出かけた奥尻中学校の生徒たちです。旧道庁赤レンガの前で記念撮影。この建物は明治21年(1888)竣工、アメリカ風バロック様式のレンガ造りです。現在では「北海道庁旧本庁舎」として国の重要文化財に指定されて保護され、多くの観光客でにぎわっています。ここで、おや？っと思いませんか？？建物中央にあるはずの塔部分がありませんよ。「八角塔」と呼ばれる塔部分は明治29年に撤去されたまま長く使用されましたが、昭和43年に創建当時の姿に戻す際に復元されたものなのです。若い世代には違和感がある写真ですね。



学芸員オスメの一冊をご紹介します。本は海洋研修センター図書室で借りられます。

につぼん全国土偶手帳 譽田亜紀子

土偶ってなんじゃ？えーとですね、縄文時代の遺跡から出てくる、人形をした焼き物で、妊婦を表すような形状が多く、生命や衣食住など当時の人々の願いに係るものとされています。縄文人の精神性を表すと言われますが、はっきりしたことは判りませんが、全国各地の個性的で神秘的な土偶たちを紹介する、土偶女子(?)必携書です。

月刊 奥尻のつり 9月号

さて9月です。小魚情報としては、西海岸の神威協港にカマスの大群が時折姿を見せています。文字通り本当に大群です。カマスは別名バラクーダと言われ、南方の海域に棲む魚なのですが、水温上昇の影響なのか、奥尻にも大きな群れが集まるようになったものです。ギザギザした歯が特徴的ですが、上手くさばけば食べられます。一方、メインのアジやサバはほとんど見られず、イワシもまだ現れません。港内のハチガラ釣りが好調で、20日過ぎには奥尻港内で33cmという超大型がワームで釣れていました。某学芸員が調査に出向いたところ、各港内で25cm前後、最大30cm超も出たそうです。稲穂岬沖では、とととう秋のホッケが掛かり出したので、秋の深まりとともに魚影が濃くなっていくことでしょう。

昭和奥尻生活詩 新谷清二の鳥賊つげ1ヶ月 第25回

釣石尋常小学校高等科二年生 文集「鳥の子」第八号より

つづく  
つづも う叫→どをつつか石なめづた苗程  
けける誰のんつ同選けなね油。てを。沖集青  
たたしにでだい時んよっぱ大茶青つ場のま苗  
。たも我。てにでとた大し津苗けに室っに  
大そ。負先→来ト錨祈らしたか沖て来地て来  
抵れつけにそたんをっどた使らへ流た岩島た  
三でかなとれどボ下たう俺っ此来しらかを船  
尾もない釣つしをし。す家て処たて他ら作は  
位他く気に入りいと下た船のい迄ののいっ数  
たのなで始た大ろ。はべ損るのい迄ののいっ数  
づ人なで始た大ろ。はべ損るのい迄ののいっ数  
たのなで始た大ろ。はべ損るのい迄ののいっ数  
。よ五ボ。と声かが場んへ晩のく年う走。なり  
り尾を俺言で、錨所とそつてか始んっ青い

いD急たし指自ま今五トと  
てと救。て導衛し回・・な今年  
学三命救のに隊たは六ミっ今年  
び角士急ごあ員。防年一たで  
ま巾の面飯たが食災生テ通算八回  
しの指で炊りボ事時対イ学合宿目  
。用に、を飯ンで対〜グ宿目  
法よ消覚盒テは応で〜子  
り防えをイ、をす〜子  
にAのま使ア航学が小イ  
つE救し用で空び、学

今年のNMは一味違う



海洋丸 299トン

ががは難然にすは校丸等してに  
でひ青しの参。能はL学てい見九  
まつ苗て荒加約生糸二校みま慣月  
しくでい天し三港魚九のるしれ二  
たり突たにて十を川九漁とたな十三  
。返風のよい日抛市ト業新。い三日  
るがでりま間点にン実濁よ漁船  
ほ吹す、しのにあで習県く船、奥  
どき。港た操しりし船立よが停尻  
の、こ外が実て、た。海海観泊港  
被磯のに、業同。海海観泊港  
害船日避突習ま船同洋高察し外

新潟の海洋丸が避難

穩しこ衆被来早がにう入り  
にいと議害しい、寒なるま今年  
過年で院はまでまさ気がとせ年の  
ぎでもあしすだががすんで残暑  
れすや解りたよ。だつす。秋はほ  
ばねは散まが。台ス。秋はほ  
い。り総せ、台ス。秋はほ  
い年酉選ん島風トく。に。九  
な末年拳でにが。一。の雨つ九  
。で騒いたき個にで。ご。た月ど  
平がう。な襲はすとよ

新米之記録(編集後記)

て期でい昔すラで中れ二一奥  
お待、うの。ンには本三尻台  
味さ付話ワ沈下味沈、が二港内一  
のれ加にイ没化のめ瓶沈本内一  
方て価ヒン船を。変。め。詰。め。と。に。の  
はい値ンが。か。目。化。熟。め。ら。地。一。の  
？ま。と。ト。美。ら。指。を。成。し。れ。酒。奥。尻。の。九  
す。な。を。味。引。す。調。さ。た。ま。一。尻。の。九  
。る。得。だ。き。実。査。せ。酒。し。奥。尻。の。九  
は。こ。た。つ。揚。験。し。る。類。た。奥。尻。の。九  
た。も。た。げ。で。こ。を。一  
しが。の。と。た。づ。と。海。こ。一

ロマンを加味して



来島記念スタンプ①